

(参考様式6)

農山漁村振興交付金（農山漁村活性化整備対策）
事業活用活性化計画目標評価報告書

平成30年9月11日作成

活性化計画名	木島平村地区活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
長野県	200000	1	平成25年度	平成25年度
木島平村	205621		～平成29年度	～平成27年度
活性化計画の区域				
長野県木島平村地区（長野県木島平村）				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率(%) B/A	備考
交流人口の増加	54.89%	40.92%	74.55%	

(コメント)

北陸新幹線開業効果を見込み利用者を想定していたが、目標値に対し約75%の達成であった。要因として、北陸新幹線飯山駅の観光客利用者のうち本村へ2次交通（バス）利用者数も含む目標値としていたが、北陸新幹線飯山駅を利用した乗降客が当初見込みの約15%となり、2次交通利用者も想定より減少することとなったことが考えられる。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量			事業実施主体
都市農山漁村総合交流促進施設	都市農山漁村総合交流促進施設2棟、 1497 m ²			木島平村
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
木島平村	平成25年度	平成26年度	平成27年4月1日	
事業の効果				
村内の地域資源を加工等により付加価値を付け販売することで、地域農産物の直売・加工による農業振興と、体験型交流をはじめとした都市住民との交流が促進され、雇用の場の創出ができた。				

事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体
農山漁村活性化施設 整備附帯事業	運営アドバイザー委託	1 式	木島平村
	マーケティング委託	1 式	
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日
—	平成 26 年度	平成 27 年度	—
事業の効果			
<p>専門家によるアドバイスを受け、効率的・魅力的な事業運営や各部門の有機的な結合が図られた。ポスター等の作成、メディア戦略の展開により施設の知名度向上が図られた。</p>			

3 総合評価

北陸新幹線開業及び本施設のオープンという相乗効果により、交流人口の増加が図られた。また、附帯事業も活用して6次産業施設として村民の農産物等を加工し販売することで農業の振興と、雇用の創出を図ることができた。

本施設は、木島平村の入り口にあり、農産物販売や食材提供施設のほかに道の駅として情報発信や案内施設機能を有していることから、村民と都市住民を繋ぐ交流拠点として今後も活用していきたい。

4 第三者の意見

交流人口は、目標値には届かなかったものの、本施設の活用により、販売農産物はもちろん、出荷されずにいた農産物や米の付加価値が高まり、新たな加工品が生まれた。それらが観光客等に提供され、木島平ブランドの価値を知ってもらったのは一定の評価が出来る。今後も地域内外の交流を図る施設として、交流人口の拡大と地域資源の活用を推進されたい。

事業活用活性化計画評価委員会 会長 渡辺孝